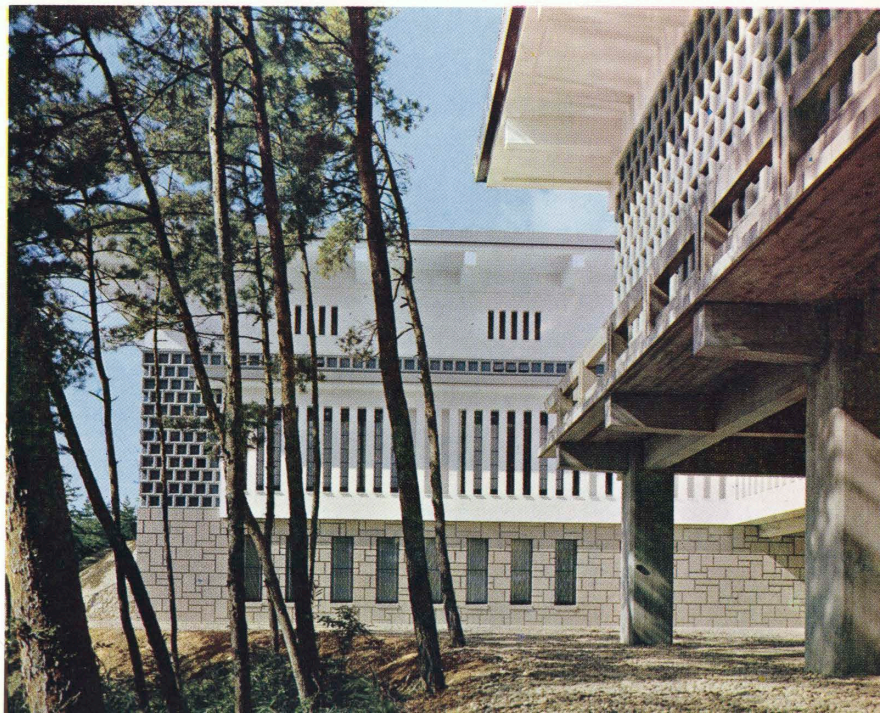
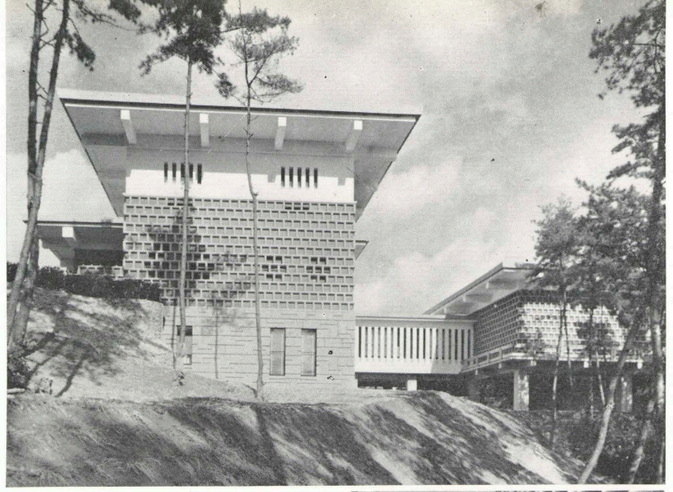
Yamato Cultural Building

大和文華館

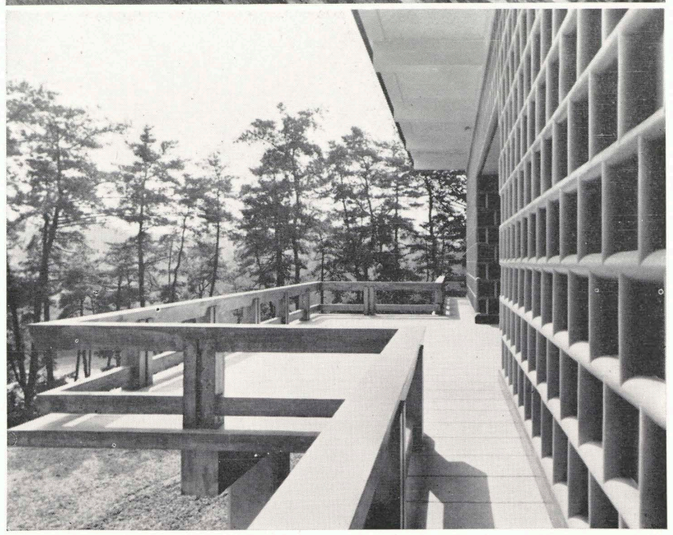


陳列棟及び管理棟背面

rear view (exhibit & administration bldg.)

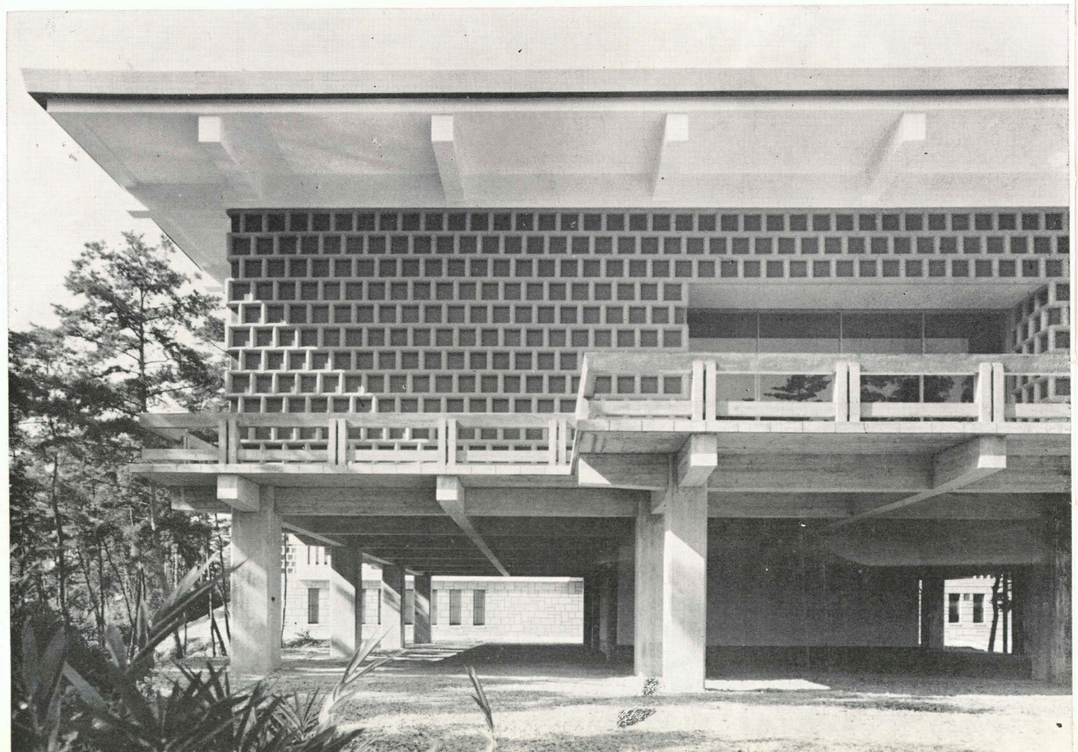


側面（陳列棟及び管理棟）
side view (exhibit & administration bldg.)



陳列室ベランダ
exhibit room verandah

陳列室背面　rear view of exhibit room



陳　列　室　exhibit room

陳　列　室　exhibit room

陳　列　室　exhibit room

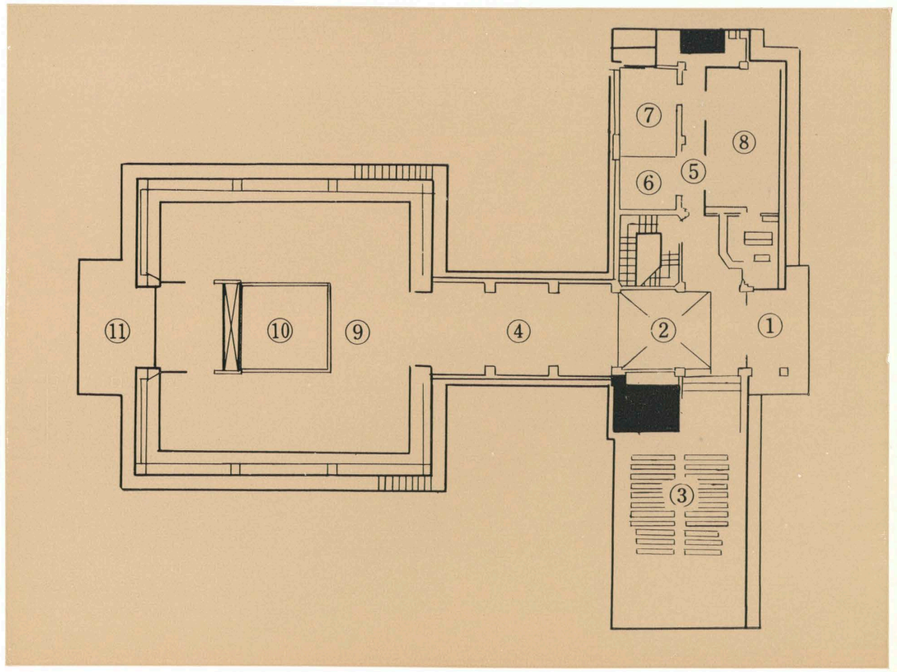
玄　関　内　部　entrance hall

館　長　室　director's room

講　　堂　auditorium

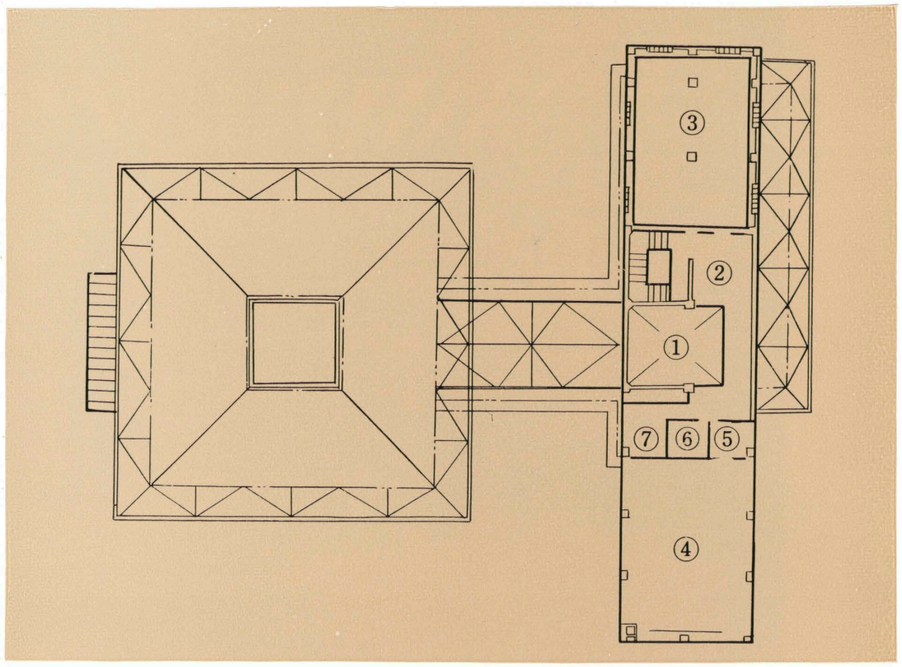
1 階平面図

①玄関ポーチ
②玄関ホール
③講堂
④ロビー
⑤廊下
⑥応接室
⑦館長室
⑧事務室
⑨陳列室
⑩中庭
⑪バルコニー



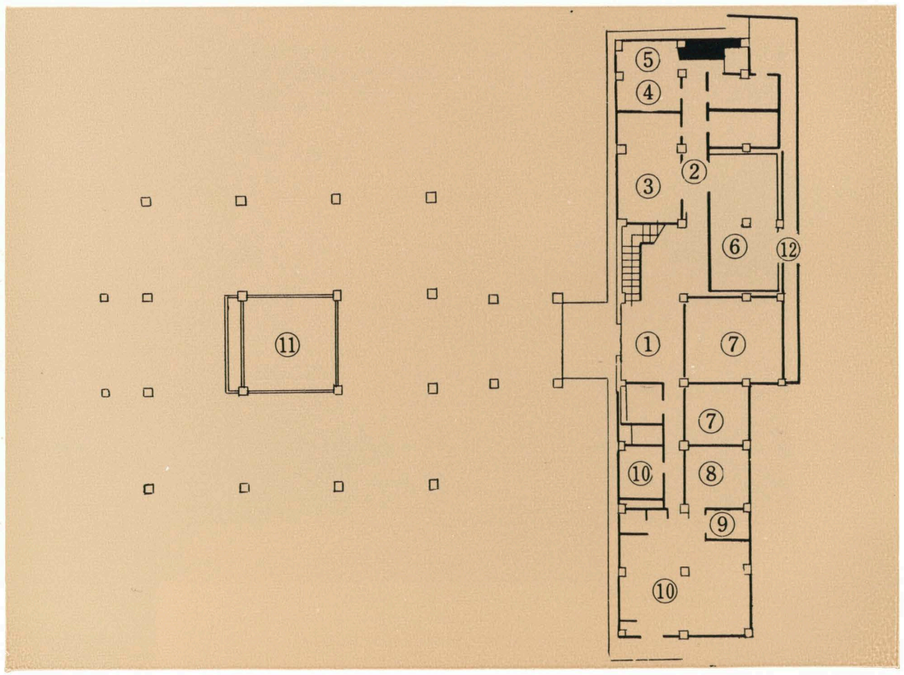
2 階平面図

①玄関ホール吹抜け
②前室
③収蔵庫
④講堂上部
⑤技術室
⑥映写室
⑦機材室



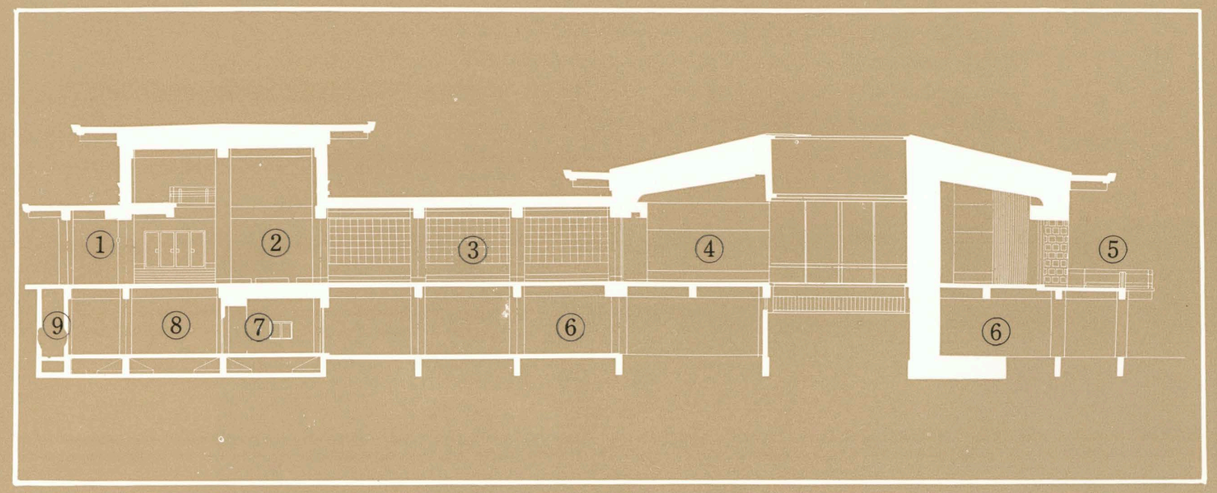
地階平面図

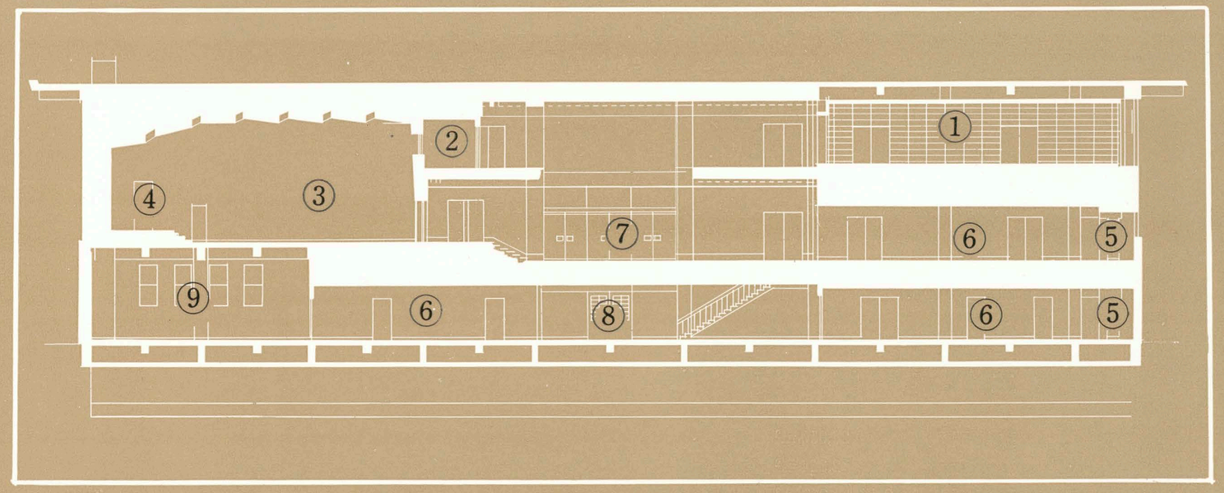
①荷解室
②廊下
③図書閲覧室
④編集室
⑤研究室
⑥書庫
⑦倉庫
⑧電気室
⑨機械室
⑩消火用炭酸ガス室
⑪中庭
⑫ドライ・エリヤ



東西断面図

①玄関ポーチ
②玄関ホール
③ロビー
④陳列室
⑤バルコニー
⑥ピロティ
⑦荷解室
⑧倉庫
⑨ドライエリヤ





管理棟南北断面図

①収蔵庫
②技術室
③講堂
④講壇
⑤便所
⑥廊下
⑦玄関ホール
⑧荷解室
⑨機械室

設計者のことば

環境・内容・建物——この三つの条件が，ぴったりと一致することの必要性は，自明の理であって，ここでとやかく云うのも変であるが，この大和文華館の敷地は，一度も斧を入れたことのない松の処女林の丘陵で，周囲が三方とも池水の美に囲まれている恵まれた土地であるが，設計する側から云わせれば，かえって苦労が多かったようである．それは前記の三つの条件を満足させるような建物を設計したいからで，この環境の実感は写真ではでない．ぜひ一度御覧を乞う．

美術館の価値は，その内容の如何にあることは論をまたないが，それをどこで，どんな方法で，またどんな建物で鑑賞させるかによって，美術館の美しさに大きな影響を与える．従来の美術館の通念としては，さながら宝石箱のような立派な，しかも窓のない厳重な部屋に美術品を飾って入ったが最後いやでも見る義務を強制させるような錯覚に陥いる場合が多く，その上なにかいき苦しさを感じ，どこかで大きないきを思う存分はきたいような気さえする．そういった美術館特有のいき苦しさから脱却してもっとのびのびとした，自由に風が吹き通るような，緑の自然を通して古美術を気安く鑑賞できる，こう云った雰囲気の美術館を前から夢見ていたのだが，今度の大和文華館で，矢代館長のご協力によってそれが実現されたことは，実に嬉しい次第である．それともう一つ云いたいことは，この美術館は鑑賞にあきたらどこでも休めるように配慮してあることである．それ故，絶対に見る人に無理な鑑賞を強いることをしない，美術鑑賞の場であると同時に，憩いの場所である．

このほか特記したいことは，美術品収納庫の設計は東大の平山嵩教授の御指導のもとに正倉院の新宝庫の形式を考慮に入れて，万全を期しており，また美術品関係の消火設備には特に意を用いて炭酸ガスによる消火法を採用したことである．終りにこの仕事について大林組，および是永現場主任の仕事に対する驚異的な情熱には，頭の下がる思いがした．感謝に堪えない．

工　事　概　要

敷地面積		28,050 m²
建築延面積		2,324 m²
建築面積	2 階	317 m²
	1 階	1,343 m²
	地階	664 m²

外部仕上げ

上部壁	白しっくい
なまこ壁	目地特殊型枠打放し エンビ #3000 底・モザイクタイル目地無貼
下部壁	御影石（錆石）貼り
地階壁	プレキャスト凝石ブロック